

平成28年3月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>浅沼 幸雄 議員 (一問一答)</p>	<p>1 進化まちづくり検証委員会からの最終提言について 昨年7月29日、進化まちづくり検証委員会から市に対し最終提言がなされた。提言の内容は、委員各位の指摘も含め、的を射たものと感じた。市ではその提言を今後どのように活かして行くのかについて伺いたい。</p> <p>2 岩手国体の受け入れについて 本年10月2日～6日に当市を会場として実施される岩手国体サッカー競技少年男子の受け入れ態勢について伺いたい。</p> <p>3 学校でのいじめ対策について 近年「いじめ」が原因と思われる悲惨な事件が全国どこでも発生し、人ごとと思われない状況となっている。当市でのいじめ対策への取組について伺いたい。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p>
<p>小松 大成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 安倍首相の憲法改正発言に対する市長の見解について 安倍首相は現在開会している国会の予算委員会審議において、戦力不保持を定めた憲法9条2項の改定に言及した。その中で首相は「占領時代につくられた憲法で、時代にそぐわない」など「押し付け憲法」論などを理由に挙げている。このことは首相自ら憲法9条の意義を正面から否定する考えの持ち主であることを公言するものである。憲法では国務大臣の憲法尊重・擁護義務を定めている。その定めに反する首相の発言は幾重にも憲法を蹂躪しており、許せるものではない。市長の見解を伺う。</p> <p>2 TPP大筋合意・調印に対する市長の見解について 2月4日、ニュージーランドでのTPP協定の調印が行われた。マスコミ報道も、もはやTPP協定は決着したかの報道が流されている。さらに、TPP協定の多くの部分が不明であるにも関わらず、政府は、影響はそれほどないといった宣伝をしている。今でも市内農家と農業者の減少に歯止めがかからない状況下でTPP協定が発効した場合、甚大な影響を及ぼすと考えられるが市長の見解は。</p> <p>3 県立高校再編計画に対する本市としての対応を伺う 昨年12月、寝耳に水の如く、高校再編計画が新聞報道された。当市では遠野緑峰高校の閉校が大きな関心事となっている。再編計画の理念として「岩手を担う自立した社会人の育成」としているが、実情は少子化が進み、国基準の教員配置と教育環境が維持できなくなったこととされ、県としてその基準にあわせた環境整備を進めようとしていることが明らかになった。「岩手を担う自立した社会人の育成」との崇高な理念とは裏腹に、「遠野市における自立した社会人の育成とは何か」との私の間に明確に答えることはなかった。理念なき数合わせの再編計画と言わざるを得ない。遠野市としてのこの問題にどのように対応するのか伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>菊池 美也 議員 (一問一答)</p>	<p>1 観光振興について (1) 遠野市観光推進計画の対策構想のひとつ、市街地観光の構築についてどのような考えか。 (2) 遠野市観光推進協議会の活動状況について伺う。 (3) 宿泊地として魅力向上を目指す考えは。 (4) 策定から9年経過した観光推進計画を見直す時期だと考えるがどうか。</p> <p>2 高校再編計画(案)について (1) 平成32年に県教委の計画案どおり、校舎制が導入された場合の遠野地域の影響は。 (2) 高校支援検討チームは資料作成するためだけか。支援策を実行し結果を出す継続性のある組織が必要であるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

	(3) 魅力ある専門高校とは何か。魅力ある普通高校とは何か。	
細川 幸男 議員 (一括質問)	1 二宮金次郎像について 国民から賛否の声はありますが、国は二宮金次郎の生涯を道德教育に取り入れ、道徳向上に期待されています。実施後の末端行政機関として、現状課題はないのか、教育長に伺う。	教育長
小林 立栄 議員 (一問一答)	1 食品ロス削減への取組について 日本全国で年間 1,700 万トンの食品廃棄物が排出され、このうち、食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は約 500~800 万トン。日本の食料自給率は、平成 22 年度の数値で 39%であり食料の約 6 割は海外からの輸入である。我が国は、食糧を大量に輸入していながら大量に捨てている状況であり、国としても食品ロス削減に向けた国民運動の展開を勧めている。当市における食品ロスの現状と削減に対する取組について伺う。 (1) 大量の食品ロスの現状について (2) 食品ロス削減に向けた具体的な取組について (3) 総合給食センターでの食品残渣、学校給食の食べ残しの現状について (4) 食育について 2 障がい者支援の総合的な推進について 人生の中のさまざまなライフステージに応じて切れ目のない支援と、各段階に応じた福祉、保健、医療、教育等の連携の充実による、さらなる障がい者支援施策の確実な推進について伺う。 (1) 障がい者支援施策の現状について (2) 発達障害への支援について (3) 就労支援の推進について (4) 教育との連携について	(1) (2) 市長 (3) (4) 教育長 (1)~(3) 市長 (4) 教育長
瀧本 孝一 議員 (一括質問)	1 自主財源確保に対する姿勢や取組について 厳しくなる財政状況の中で、自主財源の確保に向けて努力している姿勢は一定の評価をするものであるが、市独自のふるさと納税の取組やホームページのバナー広告などを含め、多様な自主財源の取組に積極的な姿勢が見えないと感じられる。 それら自主財源に対する考え方について。 2 「子育てするなら遠野」の定義と支援策について 今や全国の自治体間では、子育て支援策の競争とも思える様々な施策のオンパレードの状況にある。 そのような中で、本市が掲げる「子育てするなら遠野」の定義と、他の自治体と差別化を図るために大胆で他に類を見ないような、結婚・出産・子育て等を含めたインパクトのある支援策の考えについて 3 選挙制度改正に伴う若年層への対応について 本年 7 月に予想される国政選挙から選挙制度が改正され、18 歳以上の若年層への参政権（投票権）が与えられる。 この制度改革に伴う対象若年層への選挙に対する関心や啓蒙・啓発、投票率向上への取組対応等の施策について	市長 市長 選挙管理委員長

<p>多田 勉 議員 (一問一答)</p>	<p>1 松くい虫対策と赤松の利用拡大について (1) 例年、松くい虫被害への対策を講じているが、現在の被害状況はどのように推移しているのか。 (2) 今後の被害の動向をどのように捉えているのか。 (3) 進まない赤松の活用について、今後どのような振興を図っていくのか。 以上のことについて、市長の見解を伺う。</p> <p>2 森林認証の取得について 市有林の活用を活性化するための対策をどう考えているのか。 将来を見据えて森林認証の取得を進めるべきではないか。市長の見解を伺う。</p> <p>3 観光施策に係る今後の取組体制について 観光施設が入り込み数の減少により、厳しい管理運営を強いられている。誘客の拡大に向けた取組をどのように考えているのか。 民間力を含めた取組の体制を確立すべきではないか。市長の見解を伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>菊池巳喜男議員 (一問一答)</p>	<p>1 環太平洋連携協定（TPP）関連政策について (1) 農業者の不安払拭をいかにし、将来を見すえた体質強化をどのように行っていくべきか。 (2) 農畜産物の販売強化を図りつつ、輸出対策も行うべきと考えるがどうか。 (3) 農地の圃場整備や高収入を上げるための畑地造成を進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>2 障害者差別解消法の展望と課題について (1) 障害者差別解消法の実施により、どのような展望と課題が生じてくるのか。 (2) 当市の障がい福祉の現状と今後の取組について</p> <p>3 マイナンバー制度利用開始と今後の取組について (1) マイナンバー制度導入で、どのような変化が生じるのか。 (2) 日本と諸外国の現状と比較について (3) マイナンバーカード普及とコンビニの活用策について</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>菊池 充 議員 (一問一答)</p>	<p>1 景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用対策について 市として取組可能なエネルギー資源とは具体的にどのようなエネルギーを想定し、景観資源の保全と調和を図りながら推進しようとしているのかについてお伺いしたい。</p> <p>2 農地の適正管理対策への取組について 農業従事者の高齢化や農産物価格の低迷等により、後継者不足が深刻化する中であって、第 1 次農林水産振興ビジョン期間中における遊休農地の実態と取組の成果についてお伺いしたい。</p>	<p>市 長</p> <p>農業委員 会長</p>